

教員連絡先

教員の専門分野	論文コース	CNSコース	博士後期課程	教員	電話番号	Eメールアドレス
病態機能学	○			研究科長※1	0265-81-5185	sachie@nagano-nurs.ac.jp
	○			太田 克 矢	0265-81-5137	katsuyaota@nagano-nurs.ac.jp
病態治療学	○			研究科長※1	0265-81-5185	sachie@nagano-nurs.ac.jp
基礎看護学	○		○	田 中 広 美	0265-81-5162	tanaka.h@nagano-nurs.ac.jp
国際看護学・災害看護学	○			上 野 里 美	0265-81-5153	s_ueno@nagano-nurs.ac.jp
看護管理学	○		○	渋谷 美 香	0265-81-5152	mika.shibuya@nagano-nurs.ac.jp
	○			井 本 英津子	0265-81-5141	imoto@nagano-nurs.ac.jp
母性・助産看護学	○			福 澤 利江子	0265-81-5159	fukuzawa-r@nagano-nurs.ac.jp
小児看護学	○	○	○	竹 内 幸 江 (研究科長)	0265-81-5185	sachie@nagano-nurs.ac.jp
	○			高 橋 百合子	0265-81-5184	owaki-yuriko@nagano-nurs.ac.jp
成人看護学	○			江 頭 有 夏	0265-81-5293	ymatsuz@nagano-nurs.ac.jp
	○	○※2		牟 田 理恵子	0265-81-5151	rieko_muta@nagano-nurs.ac.jp
	○			熊 谷 理 恵	0265-81-5194	rhira@nagano-nurs.ac.jp
老年看護学	○	○		桑 原 良 子	0265-81-5174	kuwabara@nagano-nurs.ac.jp
	○			千 葉 真 弓	0265-81-5175	mchiba@nagano-nurs.ac.jp
精神看護学	○	○		東 修	0265-81-5169	o-azuma@nagano-nurs.ac.jp
在宅看護学	○		○	柄 澤 邦 江	0265-81-5138	kkarasawa@nagano-nurs.ac.jp
公衆衛生看護学	○			御子柴 裕 子	0265-81-5191	mikoshiba@nagano-nurs.ac.jp
里山・遠隔看護学	○			座 馬 耕一郎	0265-81-5133	zamma@nagano-nurs.ac.jp
	○			秋 山 剛	0265-81-5134	takeshiak@nagano-nurs.ac.jp
	○		○	吉 村 隆	0265-81-5135	yoshimura@nagano-nurs.ac.jp

出願や修学に関するご相談は、各分野の教員が直接対応します。
希望する課程・コースに応じて、該当教員へご連絡ください。
※1 病態機能学・病態治療学については、研究科長が対応します。
※2 がん看護CNS

■ 教員の研究内容の詳細は
本学ホームページでご覧いただけます。

教員の研究内容はこちら



交通のご案内

- 自動車
- 中央自動車道 駒ヶ根ICから約5分
- 高速バス
- 新 宿一駒ヶ根BT 3時間50分
- 名古屋一駒ヶ根BT 2時間40分
- ※駒ヶ根BTから徒歩約15分
- JR飯田線
- 駒ヶ根駅下車 徒歩約15分
- 大田切駅下車 徒歩約10分
- 長 野一駒ヶ根IC 2時間30分
- ※駒ヶ根ICからタクシーで約5分



長野県看護大学大学院

博士前期(修士)課程
博士後期課程

令和9年度 入学者選抜案内

高度看護実践とアカデミズムへの挑戦

本学の大学院の特徴

- 1 2つのコースでのキャリアの積み上げ
- 博士前期課程では、「論文コース」と「CNSコース」の2コースを設置しています。
- 論文コース
- 専門的に看護分野に特化した看護学を探究し、理論的知識に基づいて研究課題を設定し、学際的視野と高い倫理観をもって看護学研究に取り組む姿勢を養います。
- 専門看護師(CNS)コース
- これまでの看護経験を踏まえ、看護実践の課題研究に取り組み、高度な看護実践能力を養います。小児看護・がん看護・老人看護・精神看護の4分野のコースを設置しています。
- 2 多様な学びを支えるオンライン遠隔授業
- 本学大学院では、社会人学生や遠隔地から通学する学生が学びやすいよう、夜間開講や集中講義に加え、オンライン遠隔授業を取り入れています。時間や距離の制約に配慮し、多様な学び方を支えています。
- 3 仕事や家庭と両立可能な長期履修制度
- ライフスタイルに合わせて無理なく学べるよう、長期履修制度を設けています。博士前期課程は最長4年、博士後期課程は最長6年まで、標準修業年限分の授業料で計画的に履修を進めることができます。

令和9年度 入学者選抜の日程・募集人員・試験科目

日程・募集人員

試験名	博士前期課程試験	博士後期課程試験	追加募集	10月の試験で定員に達しない場合に行います。
出願期間	令和8年9月17日(木)～9月25日(金)		試験名	博士前期課程試験 博士後期課程試験
試験日	令和8年10月10日(土)		出願期間	令和9年1月12日(火)～1月19日(火)
募集人員	16名	4名	試験日	令和9年2月6日(土)
合格発表	令和8年10月15日(木)		合格発表	令和9年2月15日(月)

試験科目

教育課程	博士前期課程試験		教育課程	博士後期課程試験
	論文コース	CNSコース		
小論文	読解力、論理的思考力、説明力、表現力を評価する		英語	看護学文献等の英文読解能力を評価する
専門科目	看護専門分野の基礎的知識、思考力を評価する	CNS専門分野の基礎的知識、看護事象の分析力・思考力を評価する	口述試験	研究計画のプレゼンテーションや質疑応答を通して研究遂行能力、研究姿勢、研究の意義等について評価する
面接	志望動機、学修意欲、関心、論文(CNS)コースとしてのキャリア形成の考え方を評価する			

- 専門学校・短期大学を卒業した方も、事前資格審査により出願できます
- 学生募集要項は、本学ホームページでご覧いただけます

学生募集要項はこちら



博士前期（修士）課程

論文コース

ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）

1. 専門分野に関する理論的知識を活用して看護の質向上に関わる研究課題を設定する能力
2. 自らの専門性について学際的な視野をもって俯瞰する能力
3. 研究課題に対応した研究プロセスの遂行に必要な能力
4. 高い倫理観を持って看護学研究に取り組む能力
5. 国内外の学術的な場において研究成果を公表する能力

アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

1. 看護学に関する研究課題を探究しようとする人
2. 基礎的な研究能力を身につけるために、主体的かつ継続的に研究課題に取り組もうとする人
3. 看護の専門性を基盤として、研究成果を教育・研究・看護実践活動に活かそうとする人
4. 看護研究に必要な倫理について学ぶ意欲のある人

専門看護師（CNS）コース

ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）

1. 専門分野に関連する理論的知識を基盤とした高度な看護実践能力
2. 専門性を基盤として多職種と協働し、調整する能力
3. 看護対象者へのケアに関わる倫理的課題への高い感受性を持ち、調整する能力
4. 研究のプロセスを踏んで看護実践の課題研究に取り組む能力
5. 国内外の学術的な場において研究成果を公表する能力

アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

1. 高度看護実践に強い関心を持ち、臨床課題の解決に向けて主体的に取り組む姿勢がある人
2. 多職種と連携・協働するために必要な基礎的なコミュニケーション能力がある人
3. 看護における倫理的課題の解決に意欲のある人
4. 臨床課題の解決に向けた研究プロセスを学ぶ意欲のある人

教育課程と研究領域・分野

論文コース

看護基礎科学領域

病態機能学
病態治療学

基礎看護学領域

基礎看護学
看護管理学

発達看護学領域

母性・助産看護学
小児看護学
成人看護学

広域看護学領域

老年看護学
精神看護学
地域・在宅看護学
里山・遠隔看護学

専門看護師（CNS）コース

小児看護

がん看護

老人看護

精神看護

博士後期課程

ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）

1. 看護学の発展に寄与する研究を独立して行う能力
2. 国内外で学術的な交流をする能力
3. 学際的な視野に立ち、研究活動及び保健医療福祉活動に貢献する能力
4. 専門性を基盤に、優れた人材を育成する教育能力

アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

1. 基礎的な研究能力を有し、人々の健康の保持・増進および生活の質の向上に関連した研究に取り組もうとする人
2. 専門分野で修得した看護実践能力を基盤として、国際的・学際的な視点から、理論的・実践的に研究を発展させようとする人
3. 高度な研究能力や看護実践能力を生かし、看護実践の質の向上や人材の育成に貢献しようとする人

教育課程と研究領域・分野

基礎・発達・広域の3領域9分野において、学際的視野と専門性を基盤に、教育・研究能力を高める体系的なカリキュラムのもとで看護学研究を深化させ、独立して研究を実施できる教育者・研究者を養成します。

基礎看護学領域

基礎看護学
看護管理学

発達看護学領域

母性・助産看護学
小児看護学
成人看護学

広域看護学領域

老年看護学
精神看護学
地域・在宅看護学
里山・遠隔看護学



図書館



大学生協 食堂



講堂



講義の様子（前期課程）